

青梅市立

# 総合病院だより

第71号

2023年2月～2023年5月号



青梅市立総合病院

## 内 容 (目 次)

1. “当院におけるゲノム医療の取り組みについて”	……2P
がんゲノム診療部 産婦人科部長	伊田 勉
2. 地域連携医通信 “取り組んだコロナ診療 =当院の3年間=”	……4P
医療社団法人 みやびの会 あきる野総合クリニック 院長	小林 雅史
3. “新任挨拶”	……7P
救急科 センター長	宮国 泰彦
放射線治療科	星 章彦
地域医療連携室 看護師長	手塚 浩恵
4. 令和5年1月2日から令和5年5月1日までの医師異動表	……9P
5. 地域医療連携室からのお知らせとお願い	……12P
6. 事前予約枠一覧表	……13P
7. 外来担当表	……14P
8. 各種病診連携カンファレンス	……17P
9. CPC 予定表	……18P

---

### =当院の理念=

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、  
地域が必要とする高度な急性期医療を、  
安全かつ患者さんを中心に実践します。

### =基本方針=

1. 私たちは、清潔な病院づくりに努めます。
2. 私たちは、親切的な病院づくりに努めます。
3. 私たちは、信頼される病院づくりに努めます。
4. 私たちは、自立できる病院づくりに努めます。

## 1. “当院におけるがんゲノム医療の取り組みについて”

がんゲノム診療部 産婦人科部長 伊田 勉

### 【がんゲノム医療とは】

従来のがん治療は、肺、大腸など、主に発生部位に応じて、治療方針や薬剤などが選択されてきました。しかしながら、同じ部位に発生したがんでも、治療への反応は様々です。

がん細胞には様々な遺伝子異常が生じていることが分かっており、発生部位のみではなく、がん細胞に生じている遺伝子異常に応じて治療方針や薬剤を選択することで、より効果的な治療となる可能性があります。このがんの遺伝子変異をターゲットとした医療ががんゲノム医療です。

近年のゲノム解析技術の進歩により、実臨床でも様々な遺伝子異常が調べることができるようになったため、がんゲノム医療は年々広まってきました。

がんゲノム医療に関連する遺伝子検査や結果に応じた治療は様々ながんで保険適応となり、治療の初期段階から標準治療の一部となっているものもあります。

また、がんの種類にかかわらず、標準治療に抵抗性となった状態では、更なる治療や治験を探索する目的で遺伝子検査を行うこと(遺伝子パネル検査)が保険で認められています。

当院では、2021年4月にがんゲノム診療部を立ち上げ、がんゲノム医療を適切に行う体制作りを進めています。

### 【がんゲノム診療部について】

がんゲノム診療部は、がん遺伝子検査や遺伝カウンセリングに関する業務を行っています。

人員は臨床医、病理医、看護師、薬剤師、病理検査技師、事務職員など多職種で構成されており、がんゲノム医療を行う体制作りや主治医が検査を行う上でのサポートをしています。

患者さんに対しては、認定を受けた看護師、薬剤師などががんゲノム医療コーディネーターとして活動し、主治医の説明に同席するなど、患者さんががんゲノム医療を受ける上でのサポートも行っています。

また、非常勤の認定遺伝カウンセラーが在籍し、当院で専門的な遺伝カウンセリングが行える様になっています。

### 【がんゲノム検査の実際】

個々の患者さんに応じて、各主治医が検査の必要性を判断します。

検査の必要性や結果の説明にはがんゲノム医療コーディネーターが同席し、主治医と共に患者さんに分かりやすく説明します。

がんゲノム検査の多くはすでに採取されているがん組織を用いて検査を行うため、病理部門において検査に必要な検体を作成します。

がんゲノム医療コーディネーターが説明に同席する検査は、1年間で約60～70件程度です。がんゲノム医療は更に適応拡大していくものと考えられますので、がんゲノム診療部の業務も増加していくと考えています。

遺伝子検査の結果によっては、遺伝性がんの可能性が考えられることもあります。遺伝性がんの可能性が考えられた場合には、認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングが受けられる体制となっています。



遺伝性がんに関連する素因が見つかった場合は、一般の方のがん検診よりも慎重な経過観察が必要となります。その場合にはゲノム診療部と各診療科が連携し、必要な経過観察を行います。遺伝性がんに関連する素因は血縁のご家族へも関連する可能性がありますので、遺伝カウンセリングを通じてご説明を行い、その後の方針について一緒に検討して行きます。

### 【今後について】

国内における先進のがんゲノム医療は、がんセンターや大学病院などのがんゲノム医療の拠点病院を中心として、連携病院が連携して行う体制となっています。

現在、西多摩医療圏にはこの様な指定を受けている施設はなく、遺伝子パネル検査を受けるためには指定を受けた施設を受診する必要があります。

当院はがんゲノム医療連携病院の指定を目指して準備を進めています。指定を受けた暁には、がんゲノム医療についても、より多くの患者さんが地域内で完結できるものと期待しています。



## 2. 地域連携医通信 “取り組んだコロナ診療 = 当院の3年間=”

医療社団法人 みやびの会 あきる野総合クリニック 院長 小林 雅史  
〒197-0802 あきる野市草花 1439-9  
tel:042-518-2088



あきる野総合クリニックの小林です。令和5年3月3日で開院12年となりました。開院8日目に東日本大震災が発生し、不安の中でのスタートでした。

以来、あきる野の地で小児科、内科を中心に小児内分泌科、小児泌尿器科、整形外科、脳神経外科、脳神経内科や婦人科を標榜し、非常勤を含め約20名の医師と40名のスタッフで日々診療しております。

今回、ここ3年間、我々が取り組んできたコロナ診療を本紙面をお借りしてお知らせさせていただきます。

### 【第1波】（令和2年2月～令和2年5月）無力期

年末にTVで見ていた中国の状況が現実的なものと思えない中、3月頃から患者数が半減するどころか小児科は3割くらいまで落ち込みました。廃業も頭をよぎりましたが、国や都のコロナ感染対策融資を受けられたことが、診療を継続する支えとなりました。

### 【第2波】（令和2年6月～令和2年10月）準備期

9月に八王子でコロナ陽性者のための宿泊療養事業に参加させていただきました。多くは軽症者で、実際にPPEを着て診療する場面はありませんでしたが、事前のPPE装着脱講習会に参加できたことが後のコロナ診療に役立ちました。

この時期、発熱外来は公的医療機関を中心に行っていました。8月頃に西多摩保健所様からのご通知で、当クリニックのようなところでも、行政検査への手上げが可能と知りました。また、東京都に診療・検査医療機関として登録も行いました。手続き上のことは概ねクリアしましたが、実際、何がどのようにできるのか手探り状態でした。

まず、院内、外注問わずPCRや抗原検査に関して、どのようなものがあり、何が最適なのか、医療スタッフの能力や手技、検査結果が出るまでの時間、費用面などから多角的に検討しました。外注PCRは結果が出るまで数時間から数日かかることや検体処理や運搬で難しい面があること、迅速抗原検査は鼻咽頭採取でも偽陰性がPCRと比較して多いことなどを知りました。

また、院内検査としてPCRを行うことは、手技や精度管理の面から困難であるように思えました。PCRが優れているのはわかっていたのですが、やや感度は落ちるものの13分以内で判定できる迅速性と操作が簡便な等温核酸増幅法を、院内で実施する核酸検査として使用することに決めました。

もともと鼻咽頭採取は普段から行っており慣れていますが、医療スタッフが必要以上に怖がらないように、どうしたら検査に協力してくれるのかなど考えつつ、当クリニックに最適な採取方法を思案しました。結論的には、エアータック®設置や簡易陰圧室、PPEなどをきちんと備え、トレーニングし、職員への感染リスクをできる限り減らすことしかないと考えました。そのうえで、唾液ではなく、慣れた鼻咽頭採取を選択しました。

9月下旬に当クリニック最初のコロナ陽性者は基礎疾患のない20代の患者さんでした。



2020.8.7  
東京都医師会主催 PPE講習会

### 【第3波】(令和2年11月～令和3年2月)本格対応期

初めての冬で発熱患者用の仮設プレハブ設置が患者数に追いつかない状態でした。プレハブは計6棟まで増やしましたが、常に後手後手で苦しい時期が続きました。欲しいと思ってオーダーしても納品まで3か月ぐらいかかりました。

11月までは外注PCRに依存していましたが、12月から納品されたID NOW®による院内検査体制が整いました。しかし、ワクチン、治療薬はなく、都知事がまさしくおっしゃっていた素手で戦っている状況でした。



仮設プレハブ PPE 装着室とプレハブ診察室 2

### 【第4波】(令和3年2月～令和3年6月)α株期

ID NOW®を計5台まで増やし、簡易陰圧室等の設備、十分な量のPPEとその適切な手順、装着室や脱着エリアなどのゾーニングや時間的分離でコロナに対するできる限りの体制はほぼ整いました。ここで予期せず、もうすぐID NOW®試薬が尽きますという報告を受けました。著しい患者増加、パンデミックによる試薬の米国からの出荷制限と船便の遅延がその理由でした。

5月連休前に試薬不足に陥り、外注PCRを併用しました。連休中の外注での診療はやはり困難でした。アルフレッサ株式会社の協力のおかげで、5日夜10時に荷揚げされた試薬が松戸から納品され、6日以降なんとか診療を継続することができました。その後も試薬確保に全力で取り組みました。



仮設プレハブ検査室内のエアータック装置

### 【第5波】(令和3年7月～令和3年9月)δ株期

基礎疾患のない30～50歳代のCOVID-19肺炎4症例を経験しました。SATが低い陽性者も自宅待機になるような異常事態でした。この時、初めてコロナは怖いと思いました。

CT撮影では、PPEを着て放射線技師が頑張ってくれました。自宅療養患者のためにパルスオキシメーター200個購入し、その場で陽性者に渡すことを開始しました。また、医療従事者の感染防止のため、電話やオンライン診療を積極的に併用しました。厳しい状況、時期でしたが、地域の方へのコロナワクチン接種も開始しました。

δ株対応と新しいワクチンを同時にやらなければならない、開業して一番つらく、忙しい夏になりました。我々はそれまで小児の公費ワクチンを、あきる野市のお子さんの約4割に行っている実績がありました。開院して10年を経て経験と備え、そして志の高い職員が多いたので、なんとか乗り越えられたのではないかと今思います。



仮設プレハブ診察室内の簡易陰圧装置

### 【第6波】(令和4年1月から令和4年3月)ο株期

12月からFAXでの発生届提出を全例HER-SYSとしました。できるかどうか不安でしたが、保健所業務の負担軽減に少しでもお役に立てるように努力しました。また、東京都の健康観察事業を1月から開始しました。

看護師が毎日HER-SYSを確認して架電し、最大1日200人ぐらい健康観察を実施していました。コロナ検査や治療等の業務をこなしつつ、終わりが見えない日々葛藤しながら、医師、看護師が連携、協力を図ることで最後まで継続することができました。

この時、「毎日電話をくれたので安心して療養期間を過ごすことができました」、「体調が悪くなった時もすぐにクリニックでみてもらえて心強かったです」と感謝の言葉を多くいただきました。

ラゲブリオ®の処方許可され、連携薬局のみどり調剤薬局に納品されたため投薬を開始しました。日曜、祝日問わず、遅い時は夜 10 時近くまで、八王子や瑞穂まで配達をしていただきました。毎日 500 件以上の電話問い合わせがあり、発熱専用番号を急ぎ 4 つ作りました。自動音声案内も第 5 波後に導入していましたが、それでもすべての電話を受けきれませんでした。これがないと多くの事務職員が離職していたと思います。

この波で医師をはじめ 8 人の職員に感染がありました。幸いにも、多くがワクチンを接種しており、重症化には至らずに済みました。労災と国の新型コロナウイルス医療従事者支援制度のおかげで、感染した職員に手当や保険金を支給することができました。

### 【第 7 波】(令和 4 年 7 月から令和 4 年 9 月)小児感染期

パキロビットパック®の処方許可されました。検査・ワクチン・治療薬と戦える体制が確立し、クリニック全体が前向きになった時期でもありました。

とにかく小児の感染が多くなりました。暑い中、PPE を着て小児科医や検査技師が奮闘してくれました。

### 【第 8 波】(令和 4 年 12 月から令和 5 年 2 月)5 類へ

第 3～7 波の経験を生かして、内科はオンライン、小児科は対面中心で総仕上げ的な診療を継続中です。5 月 8 日以降、どのようなコロナ診療をするべきなのかまだわかりません。ただ、この闘いで培った経験を、今後起こりうるパンデミックに活用したいと思っています。

コロナ前に新型インフルエンザに対してサージカルマスク 3 万枚を院内備蓄していました。災害対策として、電子カルテが止まり、職員出勤数が 5 割以下で、電話診療し、FAX で処方箋を薬局に流す図上訓練も行っていました。本当に必要になるとは想像していませんでしたが、いずれにしても備えておくことの大切さを学びました。

### 【青梅市立総合病院の皆様への感謝】

第 8 波だけでも、30 歳代の AST800 で肝炎疑いのコロナ陽性者や採取後に鼻出血が止まらず、処置をお願いした 40 歳代の抗凝固薬内服中の陽性者、ワクチン未接種の 30 歳代肥満で、 $\circ$  株と推定される COVID-19 肺炎の 3 例は、他院で断られてしまいましたが、貴院に快く助けていただきました。

これからも貴院との病診連携がより緊密になるよう努力してまいります。ここまで貴重なお時間をいただき、お読みいただきました皆様に深謝いたします。

\* 各波の期間については、日本における新型コロナウイルス感染症の流行波ごとの性別・年齢的特徴の疫学的検討 IASR Vol.43 p273-275:2022 年 12 月号、第 105 回新型コロナウイルス感染症対策アドバザリーボード資料 3-8-③、第 112 回新型コロナウイルス感染症対策アドバザリーボード資料資料 3-8 を参照した。

1 階受付



( “あきる野総合クリニック”  
ホームページより )

#### 2023 年 3 月までの当クリニックの実績

- ・核酸検査実施件数 22,591 件
- ・陽性者数 5,428 人
- ・ラゲブリオ®投与人数 104 人
- ・パキロビットパック®投与人数 309 人
- ・ゾコーバ®投与人数 28 人
- ・健康観察実施者数 3,187 人
- ・12,988 回のコロナワクチン接種を実施

1 階待合室



### 3. “新任挨拶”

#### 救急科 センター長 宮国 泰彦

令和5年4月より救命救急センター長の重責を拝命しました宮国泰彦です。

私は、平成18年に杏林大学を卒業後、杏林大学医学部附属病院研修医を経て杏林大学医学部救急医学教室に進み、後期研修を修了しました。その後、慶應義塾大学外科で外科系救急の技術取得に努め、平成24年4月に杏林大学救急医学教室帰学後は救急医学の研鑽を積んで参りました。

また、社会的活動においては、東京DMAT 隊員養成研修や東京都災害拠点病院 NBC 災害研修の講師、地域医師会のトリアージ訓練の指導員を務めるほか、東京オリンピック開催にむけて会場周辺の二次医療圏の医療者むけのマスギャザリングやテロ災害に関する教育や研修に取り組み、東京2020オリンピック・パラリンピック大会では東京スタジアムの会場医療統括責任者として出務しました。

当院の救命救急センターは、救急車で搬送される重症から徒歩で来院される軽症まで、救急外来を受診される全ての患者さんの初期対応を行っています。

私も今後はこれまでの救急・災害活動の経験をもとに、西多摩地域の救急・災害医療に微力ながら貢献していきたいと考えております。

西多摩医療圏の先生方とは今まで以上に連携を密にし、地域の先生方から信頼をいただけるように努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



#### 放射線治療科 星 章彦

令和5年4月1日より常勤医となりました星章彦と申します。当院では前任者の退職に伴い、がん拠点ながら放射線治療医不在の状態となり、昨年5月から非常勤医としてお手伝いしてきましたが、4月からはようやく以前と同様の常勤体制に戻りました。

とはいうものの9月から老朽化した放射線治療装置リニアックの更新作業となり、再稼働は来年のゴールデンウィーク明けになるので、今しばらくご紹介いただく先生方には、何かとご迷惑おかけすることになり申し訳ありません。

来年には新鋭治療装置で高精度治療にも様々取り組んでいく予定です。

私は昭和61年東北大学を卒業後、東北大学、宮城県立がんセンター、東京医科歯科大学等で放射線治療に携わってきました。その後平成10年から武蔵野赤十字病院で多摩地区の放射線治療に関わり20年以上経ちました。当時から脳更には肺・肝臓など体幹部の定位放射線治療に積極的に取り組んできましたが、当院でも新リニアック導入に合わせ取り組んでいきたいと思っております。

強度変調放射線治療(IMRT)にも対応できる機種ですが、常勤放射線治療医2名の施設基準があるので、追々取り組んでいけるよう充実を図っていきたく思いますのでよろしくお願いいたします。





令和5年4月1日付で、地域医療連携室看護師長に就任しました手塚浩恵と申します。就任から1か月が経ちましたが、病棟とは違う業務に戸惑う日々です。

現場を知ることから始め、地域における医療の連携・支援が円滑に行われるよう努力してまいります。

当院は令和5年11月に新病院の開設を予定しております。開設前後には患者さんの受け入れなどで、地域の先生方にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

地域の先生方と連携をとり、患者さんお一人おひとりが病状に適した医療機関で医療サービスが受けられるよう役割を果たしていきたいと思っております。

今後ご指導ご鞭撻のほどよろしくをお願いいたします。



#### 4. 令和5年1月2日から令和5年5月1日までの医師異動表

令和5年1月2日から令和5年5月1日までの間、医師48名が退職し、医師56名の採用がありました。

##### ●センター長・部長・副部長

###### 退職 医師

日付	科名	役職名	退職者
3月31日	呼吸器外科	部長	白井 俊純
	産婦人科	部長	小野 一郎
4月16日	救急科	副部長	杉中 宏司

###### 新任 医師

日付	科名	役職名	採用者
4月1日	救急科	センター長	宮国 泰彦
	血液内科	副部長	岡田 啓五

##### ●医長・医員・嘱託医・専攻医

###### 退職 医師

日付	科名	役職名	退職者
2月28日	皮膚科	医長	佐藤 詩穂里

日付	科名	役職名	退職者	科名	役職名	退職者
3月31日	総合内科	医長	高梨 俊洋	消化器内科	医員	西平成嘉子
	循環器内科	医長	田中 明史	腎臓内科	医員	篠遠 朋子
	消化器内科	医長	岡田 理沙	整形外科	医員	小林 秀彰
	脳神経内科	医長	片山 優希	小児科	医員	山本 桜子
	脳神経外科	医長	藤井 照子	産婦人科	医員	栗原 大地
	小児科	医長	有路 将平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	医員	高橋 佑輔
	皮膚科	医長	土屋 海士郎	麻酔科	嘱託医	大川 岩夫

日付	科名	役職名	退職者
4月30日	血液内科	医員	藤原 熙基



日付	科名	役職名	退職者	科名	役職名	退職者
3月31日	呼吸器内科	専攻医	井上拓也	小児科	専攻医	高橋 顕一朗
	血液内科	専攻医	川上真帆	小児科	専攻医	西畑 綾夏
	腎臓内科	専攻医	竹田彩衣子	泌尿器科	専攻医	加藤 季澄
	外科	専攻医	黒澤多英子	産婦人科	専攻医	高瀬 布未果
	整形外科	専攻医	波多野泰三	産婦人科	専攻医	市川 瑛美
	整形外科	専攻医	青崎裕次郎	産婦人科	専攻医	大河内 教充
	精神科	専攻医	高橋 有樹			

## 新任 医師

日付	科名	役職名	採用者	科名	役職名	採用者
4月1日	消化器内科	医長	末松 聡史	消化器内科	医員	白川 純平
	呼吸器外科	医長	森 恵利華	血液内科	医員	初澤 紘生
	脳神経外科	医長	石川 茉莉子	腎臓内科	医員	高見 純
	小児科	医長	安藤 和秀	脳神経内科	医員	藤野 真樹
	小児科	医長	百瀬 太一	整形外科	医員	山崎 舜
	産婦人科	医長	河野 絵里	脳神経外科	医員	林 俊彦
	救急科	医長	清水 裕介	泌尿器科	医員	本多 一貴
	乳腺外科	医長	平塚 美由起	産婦人科	医員	豊泉 理絵
	呼吸器内科	医員	村上 匠	産婦人科	医員	土田 友梨子
	消化器内科	医員	普天間 朝久	放射線治療科	嘱託医	星 章彦

日付	科名	役職名	採用者	科名	役職名	採用者
4月1日	循環器内科	専攻医	石田 凌大	小児科	専攻医	浅見 優介
	消化器内科	専攻医	芥田 沙希	小児科	専攻医	朴 智薫
	血液内科	専攻医	甲斐 浩史	泌尿器科	専攻医	清水 道紀
	内分泌糖尿病内科	専攻医	榎本 圭佑	産婦人科	専攻医	鰐田 芙実子
	腎臓内科	専攻医	原田 絵理子	産婦人科	専攻医	桑原 一嘉
	外科	専攻医	松本 理奈	産婦人科	専攻医	米良 健輝
	整形外科	専攻医	半田 和佳	産婦人科	専攻医	中村 芽優
	整形外科	専攻医	仙石 祐	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	専攻医	水野 雄介
	精神科	専攻医	成田 友加里	救急科	専攻医	辻野 申明

●初期臨床研修医

退職者 \*は、1年次研修医

日付	氏名			
3月31日	伊波 菜緒子	岩田 悠佑	岩元 銀河	甲斐 浩史
	勝村 夏帆	北山 雅崇	寺松 龍	三浦 理恵子
	村上 肇	岡 慎平	近藤 和樹	朱 理絵
	犬竹 平*	松岡 将太郎*	松岡 菜々恵*	田中 正純*

採用者 \*は2年次研修医

日付	氏名			
4月1日	一色 椋太	片井 悠太	後藤 良太	鈴木 のぞみ
	世古 ゆり子	大樂 絵理奈	高木 慧洋	福田 翔
	横山 和乃	長濱 由樹	南部 大	比留間 百合子
	加藤 礼佳	穂田 かおり*	岩佐 一輝*	小林 優友*

5月1日現在、当院の医師数は、嘱託医・専攻医・初期臨床研修医を含め、159名です。



## 5. 地域医療連携室からのお知らせとお願い

昨年度は多くの患者さんをご紹介くださいまして誠にありがとうございました。おかげさまで事前予約紹介率は3%アップとなりました。地域の先生方には多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度は新任の手塚師長と共に地域連携を更に強化して参りますので何卒よろしくお願いいたします。

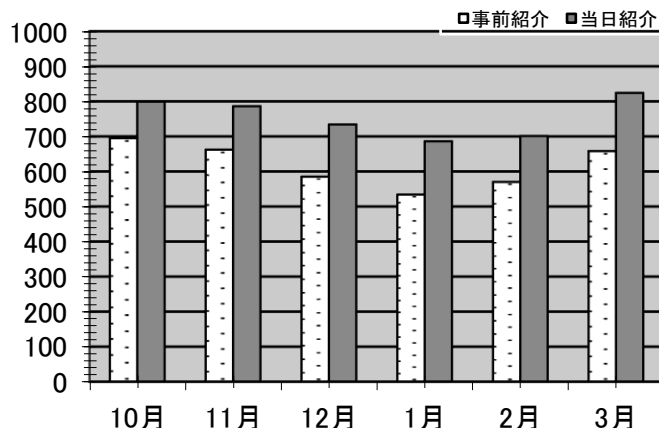
外科の血管外来の医師が心臓血管外科に異動になりました。腹部大動脈瘤、下肢静脈瘤は心臓血管外科へご紹介ください。新年度となり、医師の異動により事前予約枠・時間の変更があります。詳しくはお問い合わせいただくか、『事前予約枠一覧表』をご参照ください。

※事前予約申込書から電子カルテ情報、診療券を作成いたします。患者氏名、生年月日、電話番号等、ご記入の際はご記入情報に間違いがないかご確認ください。

※ご病状により、ご依頼いただいた科以外での受診となる場合がございますが、何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。

紹介患者数一覧表

ご紹介の形態	ご紹介いただいた患者数					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前予約	695	662	585	534	570	658
当日紹介	799	786	734	686	701	824
合計	1,494	1,448	1,319	1,220	1,271	1,482



### 事前予約で受診の場合には

- ①診療予約時間が確定します。
- ②医事課での受付時間が短縮します。

※予約なしで紹介状をお持ち頂いた場合、当日に診療できますがお待ちいただくことがあります。

### 【事前予約の流れ】

#### 1. 予約のお問い合わせ先

0428-22-3191(代表電話)

精神科・もの忘れ外来

精神科外来へ、  
連絡ください。

『事前予約枠一覧表』を  
ご参照ください。

心房細動外来、血管外来(循環器内科)  
血管外来(心臓血管外科)、乳腺外来  
SAS外来、IP外来、骨粗鬆症予備外来  
生活習慣病栄養指導外来、糖尿病透析予防外来  
ｲﾝｽﾘﾝ・ｼﾞﾌﾟ・CGM 外来(持続性血糖モニタリング)

地域医療連携室へ連絡ください。

※診療科予約は『事前予約枠一覧表』をご参照ください。  
※SAS外来、乳腺外来は患者さんからの予約も承っております。  
※電話がつながりにくい場合は先にFAXをお送りください。  
折り返しお電話を差し上げます。

CT・MRI・PET・RI 検査

放射線診断科受付へ連絡  
ください。

『事前予約枠一覧表』を  
ご参照ください。  
FAX送信書類は担当にご確認ください。

#### 2. 『事前予約申込書』等の送り先

土日祝日を含めて24時間FAXを受け付けております。一般電話受付時間 8:30~17:00

17時以降にご送信いただいた申込書については翌営業日にご連絡いたします。※予約票はお送りしていません

地域医療連携室長 野口 修

地域連携担当 手塚・中村・島田・馬場・石川・澤崎・高橋・加倉井・小松・永田・大原・森田

## 6. 事前予約枠一覧表

令和5年4月1日現在

診療科	○の中の数字は人数					時間	備考
	月	火	水	木	金		
内科	②	②	②	②	②	9時～	診断が確定していない場合にご予約いただけます。
生活習慣病栄養指導外来	②	②	②	②	②	9時30分～	診断が確定している場合は各専門外来にご紹介ください。
呼吸器内科 ※	④	/	④	④	④	11時30分～12時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。予約時間の30分前までに来院するようお伝えください。
SAS 外来	②	②	/	/	/	16時～16時30分	睡眠時無呼吸症候群の疑いの方はSAS外来にご紹介ください。患者さんからもご予約いただけます。
IP 外来	/	/	②	/	②	15時～16時	間質性肺炎の場合はご紹介ください。
消化器内科 ※	⑪	/	③	⑧	②		予約時間はお問い合わせください。
循環器内科 ※	③	⑥	⑥	⑥	⑥	11時30分～12時30分	予約時間の45分前までに来院するようお伝えください。
心房細動外来	②	/	/	/	/	9時～10時	予約時間の30分前までに来院するようお伝えください。
血管外来(循内) ※	/	④	/	/	/	14時～16時	閉塞性動脈硬化症の場合はこちらへご紹介ください。予約時間の30分前までに来院するようお伝えください。
腎臓内科 ※	①	②	②	①	②	10時30分～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。予約時間はお問い合わせください。
内分泌糖尿病内科 ※	⑤	/	②	②	③	10時～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
糖尿病透析予防外来	○	/	/	○	/	12時～	予約時間の60分前までに来院するようお伝えください。
インスリンポンプ CGM 外来	/	③	/	/	/	14時30分～16時	
血液内科 ※	①	①	①	①	/	10時30分～11時	9時45分までに来院するようお伝えください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
リウマチ科 ※	②	②	②	①	②	9時～11時	45分前までに来院するようお伝えください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
外科 ※	③	③	③	③	③	9時30～11時30分	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
乳腺外来 ※	/	/	/	②	/	10時、13時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。患者さんからの予約も可能です。
脳神経外科 ※	①	/	①	①	①	9時～10時	火曜日は手術日です。
脳神経内科 ※	②	②	①	②	②	13時～14時	もの忘れ・認知症は精神科の「もの忘れ外来」へご紹介ください。
呼吸器外科 ※	○	/	/	/	/		受診日・時間は、診療情報提供書をFAXしていただいた後、医師に確認の上、ご連絡差し上げます。
心臓血管外科 ※	①	/	①	/	/		
血管外来(心外) ※	②	/	/	/	/	9時～9時30分	腹部大動脈瘤・下肢静脈瘤の場合はこちらへご紹介ください。受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
整形外科 ※	/	○	○	○	○		受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
骨密度(DEXA)検査	⑪	/	⑪	⑪	⑪	9時30分～15時40分	検査時間は30分程度です。
骨粗鬆症予防外来	/	⑥	⑥	/	/	12時～13時	
産婦人科 ※	④	④	④	④	④	10時～11時	
皮膚科 ※	③	/	③	③	③	9時30分～11時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
形成外科 ※	①	①	①	①	/		予約時間はお問い合わせください。
泌尿器科	③	/	③	③	/	10時～11時30分	受診前に検尿があります。受診時採尿できない場合は必ず当日の朝に採尿したものをもちください。
小児科 ※	○	○	○	○	○	9時～12時	人数制限はありません。受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
眼科	②	②	②	①	②	9時40分～10時50分	当日は症状により散瞳剤を点眼して検査を行う場合があるためご自身が運転するお車でのご来院はお控えください。
耳鼻いんこう科	/	②	②	②	②	10時～11時	水曜日は手術日のため医師指定はできません。また ARB 検査は受診当日にはできません。
精神科	/	/	/	/	/		精神科外来で予約を承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
もの忘れ外来	/	/	/	/	/		
放射線診断科	/	/	/	/	/		CT,MRI の検査の予約は放射線科受付で承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)
歯科口腔外科	③	③	/	③	③	9時30分～11時	水曜日は手術日のため休診です。

※印は『診療情報提供書』のFAX送信を受診予約日の前営業日までにお問い合わせしております。

◆: 当日受付可

無印: 予約及び紹介のみ

(令和5年5月1日現在)

## 7. 外来担当表

		月	火	水	木	金
総合内科	午前	交代で◆	交代で◆	交代で◆	交代で◆	交代で◆
呼吸器内科	午前	大友悠 村上	高野 伊藤達	日下 磯貝	佐藤謙 須原	大場 本田樹
	午後	大友悠◆ 村上◆	高野◆ 伊藤達◆	日下◆ 磯貝◆	佐藤謙◆ 須原◆	大場◆ 本田樹◆
消化器内科	午前	濱野耕◆ 白川◆	伊東詩◆ 芥田◆	伊藤ゆ◆ 普天間◆	野口◆ 野澤◆	渡部◆ 末松◆
	午後	濱野耕 野澤	渡部 普天間	伊藤ゆ 伊東詩 末松	野口 白川	芥田
循環器内科	午前	栗原顕 伊志嶺	山尾 阿部	小野裕 菅原	鈴木麻 矢部	宮崎 石田
	午後	栗原顕 伊志嶺	山尾 阿部	小野裕 菅原	鈴木麻 矢部	宮崎 石田
腎臓内科	午前	中野 竹田	松川 中熊	河本	高見	松川
	午後	中野 竹田	松川 中熊	河本	高見	松川
内分泌内科 糖尿病	午前	加計◆ 宮村◆		加計 宮村◆	宮村◆ 本多聡◆	加計◆ 本多聡◆
	午後	加計	インスリンポンプ CGM 外来		宮村	加計
血液内科	午前	熊谷	藤本	初澤	甲斐	熊谷
	午後	熊谷	藤本	初澤	甲斐	熊谷
リウマチ・ 膠原病科	午前	長坂	戸倉	長坂	竹中健	戸倉
	午後	長坂	小宮 戸倉	長坂	鏑田拓	長坂 戸倉
緩和ケア科	午後			松井		



(午前)		月	火	水	木	金
外科 化学療法外科	午前	当番医◆ 石井博 平塚(化学療法外科)	当番医◆ 杉崎(化学療法外科)	山崎 ストマ外来 杉崎・平塚 (化学療法外科)	当番医◆ 竹中芳 杉崎・平塚 (化学療法外科)	当番医◆ 澤井 杉崎(化学療法外科)
	午後	山下 三宅 平塚(化学療法外科)	山下 三宅 平塚(化学療法外科)		平野 杉崎・平塚 (化学療法外科)	藤井学 松本 【小児外科外来】 田中裕 (第1)
胸部 外科	午前・午後	山本・工藤(午前) 染谷(午後) 血管外来(午後) (心臓血管外科)		染谷(午後) (心臓血管外科)	工藤(午前) 血管外来(午後) (心臓血管外科)	シャント外来(午前) (心臓血管外科)
		今井(午前)(呼吸器外科)		森(午後)(呼吸器外科)		
整形 外科	午前・午後	当番医◆ 【股関節専門外来】 (第1・3・5)	加藤・石井・藤井俊 仙谷(午前) 半田(午後) 【脊椎専門外来】	山崎(午前) 半田(午前) 【骨腫瘍専門外来】 (第1・午後)	当番医◆ 【脊椎専門外来】 (午前)	当番医◆ 石井(午前) 加藤(午前) 【脊椎専門外来】(午前) 【膝専門外来】(9:00~12:00)
		【骨粗鬆症外来】	【予診(午後)】	【予診(午後)加藤(午後)】		【石井(午前)】
形成 外科	午前	竹治(皮膚科) 井上牧(形成外科)	石川(第1・3・5) 川口(第2・4) (形成外科)	深江(皮膚科) 井上牧(形成外科)	東郷(皮膚科) 井上牧(形成外科)	土屋(皮膚科)
	午後	大吉 鈴木晃 立花◆ 土田◆ 当番医◆	立花 豊泉 大吉◆ 小澤桃◆ 当番医◆	伊田 小澤桃 大吉◆ 鈴木晃◆ 当番医◆	河野 土田 立花◆ 豊泉◆ 当番医◆	陶守 牛木 河野◆ 小澤桃◆ 当番医◆
産婦 人科	午後		当番医 (14:00~16:00)		当番医 (14:00~16:00)	
	妊婦 健診	中村(午前)	桑原(午前)	鐸田芙(午前)	依光(午前)	米良(午前)
	午後	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	産後1か月検診	予約外来 子宮がん検診	予約外来
	助産師	当番助産師 (9:00-14:00) (*土曜診察あり)	当番助産師 (9:00-16:00) 授乳相談	当番助産師 (9:00-14:00) 母親教室	当番助産師 (9:00-16:00) 母乳外来	当番助産師 (9:00-16:00)
(脳神経内科・脳神経外科) 脳神経センター	午前	脳神経外科 当番医 (新患)◆	脳神経内科 当番医 (新患)◆	脳神経外科 当番医 (新患)◆	脳神経内科 当番医 (新患)◆	脳神経外科 当番医 (新患)◆
		脳神経内科 田尾 (午前・午後) 脳神経外科 高田義	脳神経内科 藤野 (午前・午後) 森崇(午後)	脳神経内科 仁科智 (午前・午後) 脳神経外科 唐鎌	脳神経内科 森崇 (午前・午後) 脳神経外科 渡辺・石川晃菜 (午前・午後)	脳神経内科 田尾 (午前・午後)



		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	中園◆ 本多一◆		村田◆ 清水◆	村田◆ 中園◆	
	午後	中園 清水 予約診療 予約の検査・手術	手術	村田 本多一 予約診療 予約の検査	村田 中園 予約の検査	予約診療 手術
小児科	午前	神田祥◆ 下田◆ 安藤◆ 浅見◆(第2・4) 朴◆(第1・3・5)	高橋寛◆ 横山◆ 小野真◆ 百瀬◆	神田祥◆ 下田◆ 神田珠◆ 朴◆	高橋寛◆ 神田祥◆ 安藤◆ 浅見◆	横山◆ 小野真◆ 百瀬◆ 神田珠◆
	午後	当番医  アレルギー外来 神経外来(第2)  予防接種	当番医  心理外来  乳児検診	当番医  心理外来 (第1・3)	当番医  心臓外来(第1) 神経外来 内分泌外来 (第3)	当番医  腎臓外来 (偶数月第4) 内分泌外来 (第1)  乳児検診
眼科	午前	森浩◆ 安田◆	森浩◆ 秋山◆	秋山◆	森浩◆ 安田◆	秋山◆ 安田◆
	午後	レーザー・処置 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査	手術 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査	レーザー・処置 予約の検査
耳鼻いんこう科 ・ 頭頸部外科	午前	当番医◆  手術	得丸◆ 崎浜◆ 水野◆	当番医◆  手術	得丸◆ 崎浜◆ 水野◆	得丸◆ 崎浜◆ 水野◆
	午後		補聴器外来		頭頸部外科外来  補聴器外来	
精神科	午前	当番医(午前) (新患)	当番医(午前) (新患)	当番医(午前) (新患)	当番医(午前) (新患)	当番医(午前) (新患)
	午後	成田	岡崎 谷	田中修 谷	岡崎 藤田 村松(心理)	田中修  村松(心理) (第1・3・5)
放射線 治療科	午前・午後	星(第1・2・3・5) 大久保 (第1・2・3・5 午後)	星(第1・2・3・5)	村上	星	星(第2・4)
リハビリ科	午前					
歯科 外科 口腔	午前	樋口◆	樋口◆		樋口◆	樋口◆
	午後	樋口	樋口		樋口	樋口

## 8. 各種病診連携カンファレンス

### 青梅心電図勉強会(2、7月)

第52回 6月21日(水) 19:30～

西多摩医師会館 (ハイブリッド開催)



### 西多摩心臓病研究会(10月)

第38回 10月 予定



### 西多摩呼吸器懇話会(3、9月)

第32回 5月16日(火) 19:00～

WEB 開催

### 西多摩消化器疾患カンファレンス(夏、冬)

第36回 延期(時期未定)



### 西多摩高血圧カンファレンス(年1回)

第21回 10月18日(水) 19:30～

西多摩医師会館 (ハイブリッド開催)

順次、詳細が決まりましたら、お知らせいたします。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

\* WEB 配信についての詳細は、松本雄介薬剤部長(0428-22-3191)へお問い合わせください。



## 9. CPC 予定表

時間 17時30分～19時00分

(時間が変更になっております。ご注意ください。)



**お知らせ:** 原則として隔月(偶数月)の第4月曜日に開催することとなりました。ご了承ください。

**=延期開催=**

**\* 令和5年 5月 15日(月) 18:00(時間が変更しております。)**

**症例** 78歳 男性.....

[臨床診断] ANCA 関連血管炎

担当 : 腎臓内科 中熊

病理担当 : 笠原

**\* 令和5年 6月 26日(月)**

\* 決まり次第、お知らせいたします。

感染防止対策は変わらず注意しながら、  
開催していきます。  
お忙しい中での皆様のご参加に、  
感謝いたします。  
どうぞよろしく願いいたします。

CPC担当 病理診断科部長 笠原 一郎



## 編集後記

目に鮮やかな新緑の候、地域の先生方におかれましては、爽やかな5月をお迎えのことと存じます。

新型コロナウイルスが2類から5類へ引き下げられ、当院におきましても面会制限の解除等、対応の変更をいたしました。しかしながら、感染に対しては油断せず、今までに培った know-how を活かし対策を講じて、クラスター発生を起さぬよう、引き続き努力してまいります。

先生方お一人おひとりのご支援をいただきながら、「地域支援病院」「3次救急」の役割を果たすことに、これからも尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、この度人事異動により地域医療連携室を離れることとなりました。1年間という短い期間ではありましたが、地域の先生方には本当にお世話になりました。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後は、後任の手塚看護師長を、今まで同様、よろしくお願いいたします。

前・地域医療連携室 看護師長 高橋 嘉奈子

**青梅市立総合病院だより 令和5年2月～令和5年5月 第71号**

**発行 令和5年5月**

**発行者 青梅市立総合病院**

**病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎**

**担当 地域医療連携室 / 広報サービス委員会**

**〒198-0042 青梅市東青梅4-16-5**

**TEL 0428-22-3191**

**FAX 0428-24-5126**

**URL <http://www.mghp.ome.tokyo.jp/>**